

議題 2

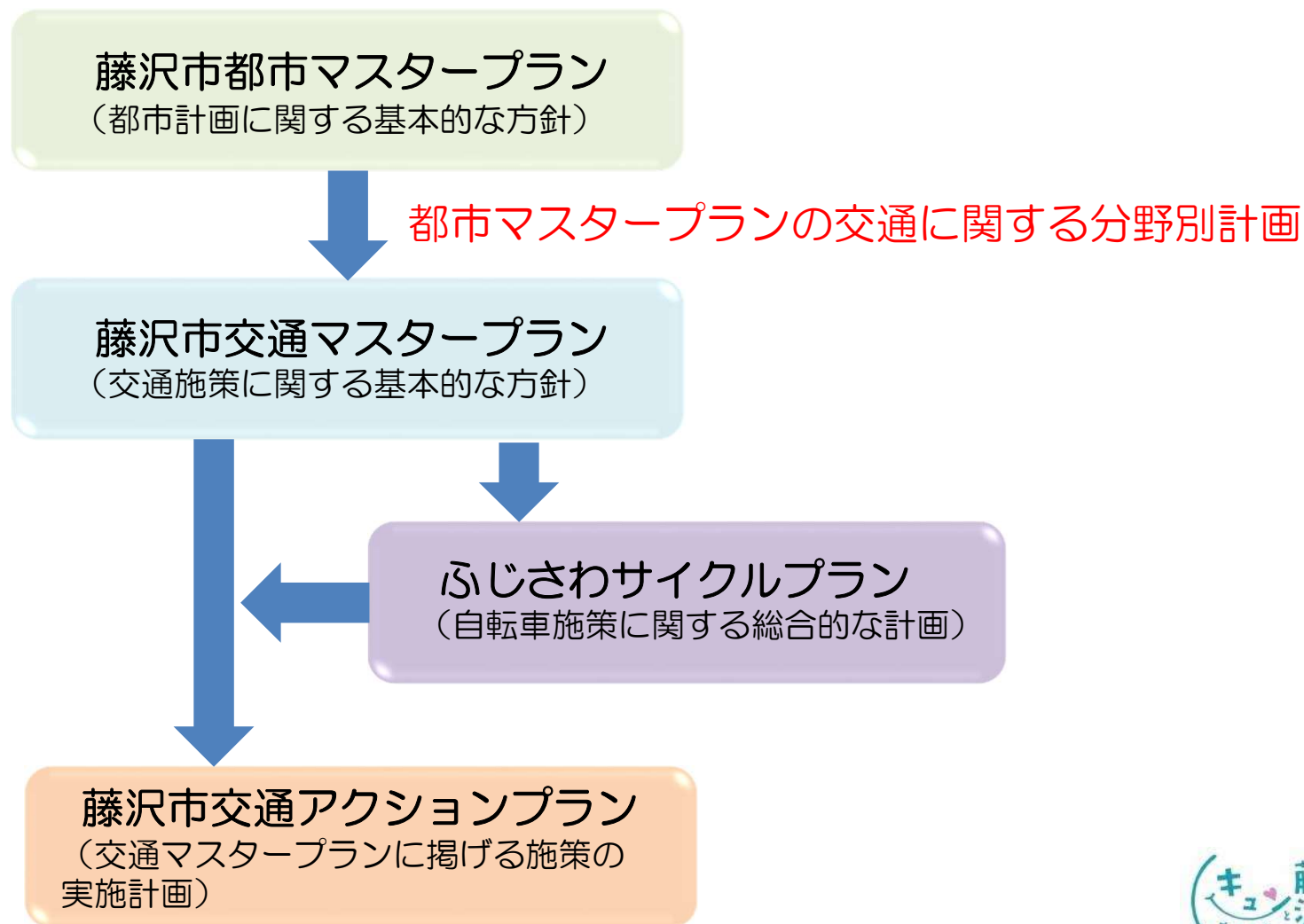
藤沢市の将来交通像について



都市マスタープランの 将来の交通体系の考え方



➤ 計画の位置づけ



▶ 将来都市構造（都市マスタープラン）

将来都市像『自立するネットワーク都市』

将来都市像を実現する都市構造の5つの要素

- 1 『**交通体系**』 ...交流・連携の骨格
- 2 『**都市拠点**』 ...交流の場
- 3 『**自然空間体系**』 ...自然環境、地形
- 4 『**市街地構成**』 ...都市活動・産業活動の舞台
- 5 『**地区の構成と地区拠点**』 ...市民の身近なまちづくりの単位



➤ 1 交通体系

市民の内外にわたる自由な交流・連携を支えるとともに、都市拠点間、都市機能相互間を結び、活力を創造する交通の骨格を形成します。また、超高齢社会や地球環境との共生を見据え、より多くの人が移動しやすい、低炭素型交通環境の形成をめざします。

交通軸の形成にあたっては、公共交通不便地域の解消やバスを含めた公共交通の充実とともに、歩行者や自転車及安全で快適に利用できる歩行空間や道路空間の改善・確保に取り組み、自家用自動車交通のみに依拠せずに活動できる都市をめざします。

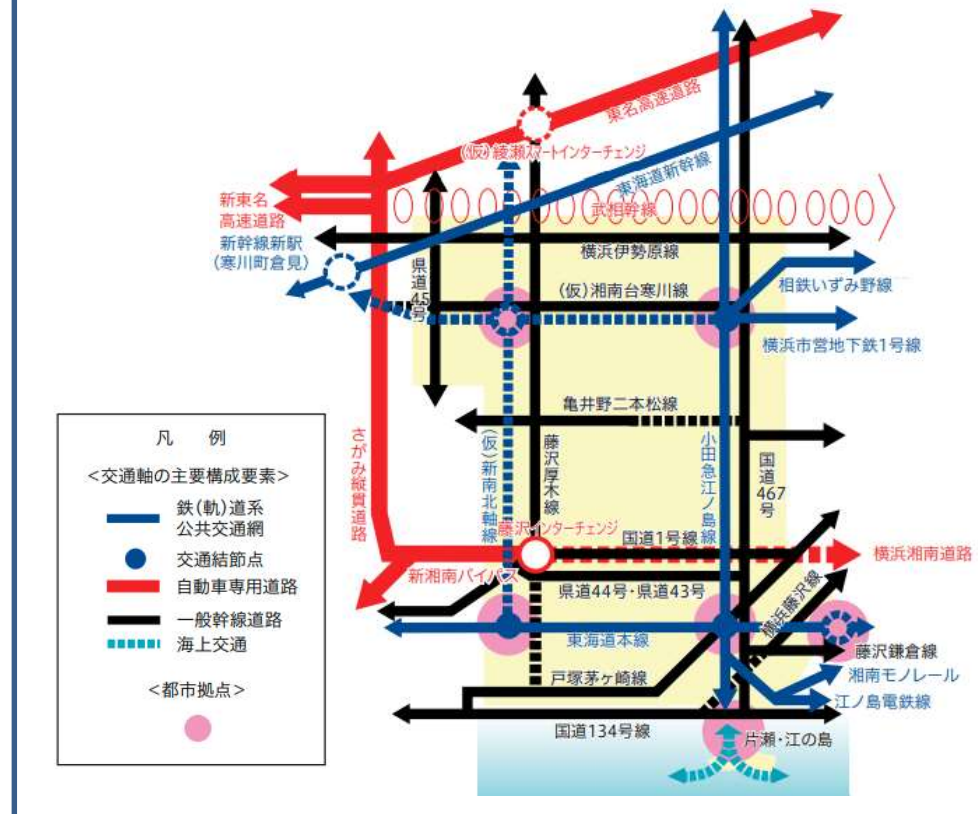
また、中長期を見据え、総合的な視点から交通のあり方について検討を行います。

➤ 1 交通体系

<配置の考え方>

- ✓ 本市の南部・北部の市街地を貫く、全国あるいは首都圏間を連絡する **鉄道・自動車専用道路**と、この南北市街地間を連絡する骨格的な幹線道路を配置し、**ラダー（はしご）型の交通軸**とします。
- ✓ **ラダー型の交通軸を形成することで、本市を取り巻く高速交通網へのアクセス利便性を高め、産業、文化、観光、市民交流等様々な都市活動の側面で、東京都心や横浜はもとより、首都圏主要都市や西日本方面等全国との連携強化をめざします。**
- ✓ **併せて、市内の都市拠点相互、そして近隣都市との連携を強化し、藤沢市並びに湘南広域都市圏の一体性と自立性を高め、さらなる活力創造につなげていきます。**

主要構成要素





2 都市拠点

- 藤沢駅周辺【中心市街地】
- 辻堂駅周辺【広域連携・複合拠点】
- 湘南台駅周辺【文化・交流拠点】
- 健康と文化の森【学術文化新産業拠点】
- 片瀬・江の島【広域海洋リゾート・クリエイション拠点】
- (仮)村岡新駅周辺【研究開発拠点】

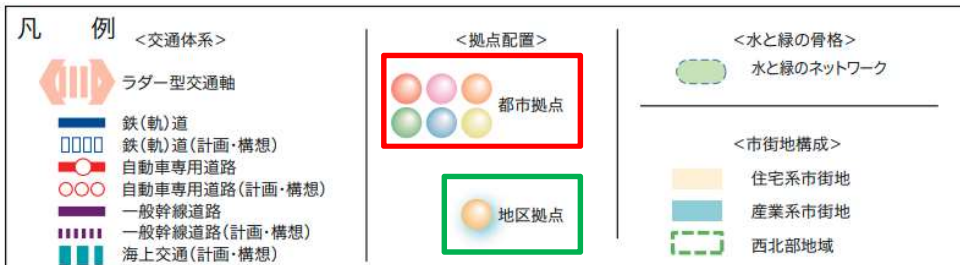
5 地区の構成と地区拠点

■ 地区

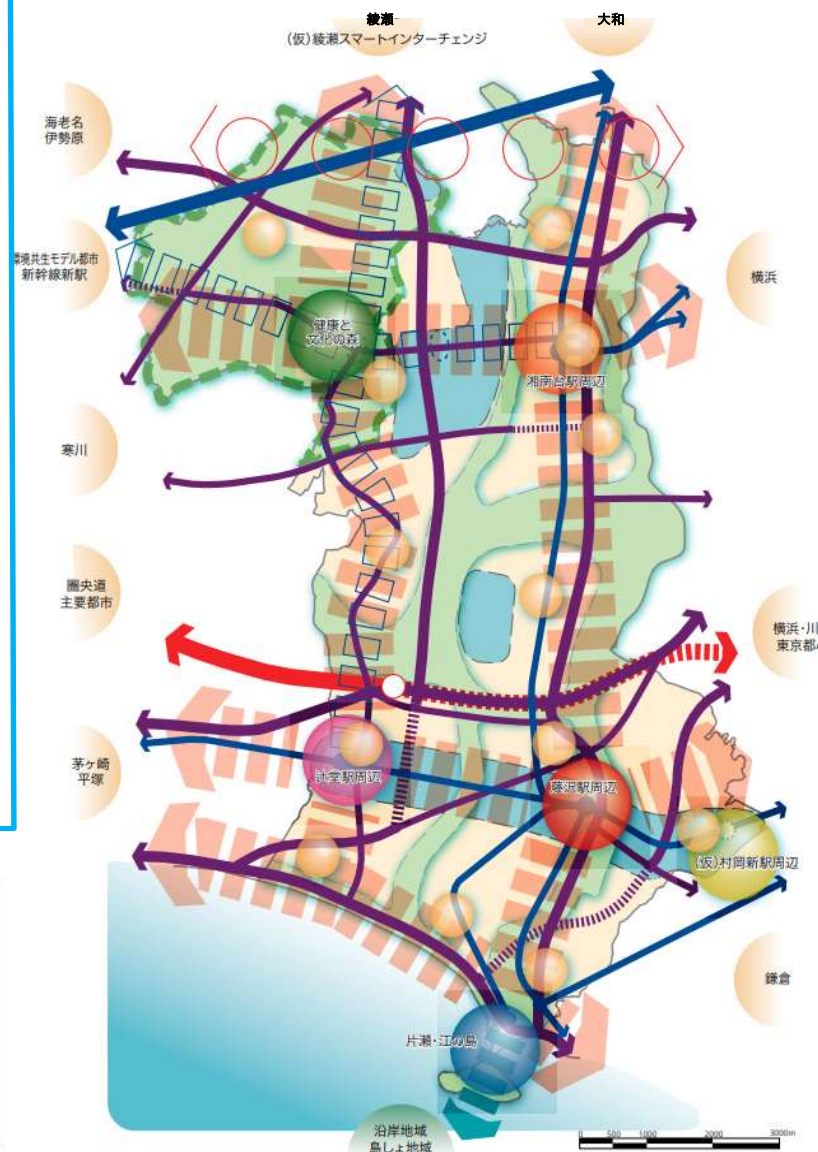
「片瀬」「鵜沼」「辻堂」「村岡」「藤沢」「明治」「湘南大庭」「善行」「六会」「湘南台」「長後」「遠藤」「御所見」の13地区

■ 地区拠点

市民センター・公民館周辺等を中心に配置し、身近な交流・都市サービス機能集積の誘導をめざすもの。



将来都市構造図



藤沢市の将来交通像 の見直しについて





▶ 将来の交通像を実現するため、特に重要視する4つの視点（現計画策定時）

- 広域的な視点や都市マスタープランをふまえて整理した「交通まちづくりに関わる広域的な視点」と、交通情勢の分析などによる「交通課題から整理した視点」から、藤沢市の将来の交通像を実現するため、**特に重要視する視点**を「地域特性」「活力」「環境にやさしい」「安全・安心」の4つとしています。

交通まちづくりに関わる広域的な視点

自立して、健康にいきいきとくらす都市づくり

地域特性に応じたきめ細やかなまちづくり

持続的な活力が創出されるまちづくり

低炭素社会構築に向けた都市づくり

安全・安心を高める都市づくり

ユニバーサルデザインのまちづくり

広域的な連携を支える都市基盤づくり

交通課題から整理した視点

多様化する交通ニーズへの対応

広域連携を支える交通ネットワークの強化

環境にやさしい交通体系の構築

安全で安心な移動しやすい環境づくり

災害に強い交通体系への強化

既存の交通施設を活かした交通環境づくり

重要視する
4つの視点

～地域特性～

～環境にやさしい～

～活力～

～安全・安心～



▶ 将来の交通像（現行計画）

『ひと・モノ・まちが、つながる都市～湘南ふじさわ～』

～地域特性～

- ひとびとが交流・連携し、健康でいきいきと暮らせるよう、地域特性にあわせた移動しやすい交通環境が整備された都市をめざします。

～活力～

- 近隣都市と連携しながら広域的な交通ネットワークの構築により、持続的な活力を想像する都市をめざします。

～環境にやさしい～

- 公共交通や自転車が利用しやすく、ひとが快適に移動できる環境にやさしい都市をめざします。

～安全・安心～

- だれもが歩きやすく、いつでもどこでも安全・安心・円滑にいどうできる、ひとにやさしく・災害に強い都市をめざします。



➤ 将来の交通像のイメージ

～地域特性～

- 地域特性に応じた公共サービスが提供され、誰もが（都市）拠点まで移動しやすくなります。

～活力～

- 都市拠点間の交流・連携を支える交通基盤整備が進み、活力が創出されます。
- 都市拠点の回遊性やアクセス性を高める交通施策が展開され、活力のあるまちになります。
- 回遊性が高く、交通結節機能が強化された観光拠点が形成されます。

都市拠点間の交流・連携を支える交通基盤整備が進み、活力が創出されます

地域特性(人口や施設、地形など)に応じた公共交通サービスが提供され、誰もが拠点まで移動しやすくなります



道路渋滞が軽減され、人や物を運ぶ自動車が円滑に移動できるようになり、地球環境負荷が小さなまちになります

駅周辺のバリアフリー化が進み、誰にとっても安全、安心な歩行環境が形成されたまちになります

都市拠点の回遊性やアクセス性を高める交通施策が展開され、活力のあるまちになります

避難経路が整備された災害に強いまちになります

住宅地などにおける生活道路では交通規制と連携して通過交通の進入を制限し、安全で快適な空間を形成します

走行空間や駐輪場が整備され、自転車の利用しやすいまちになります

回遊性が高く、交通結節機能が強化された観光拠点が形成されます

▶ 将来交通像のイメージ

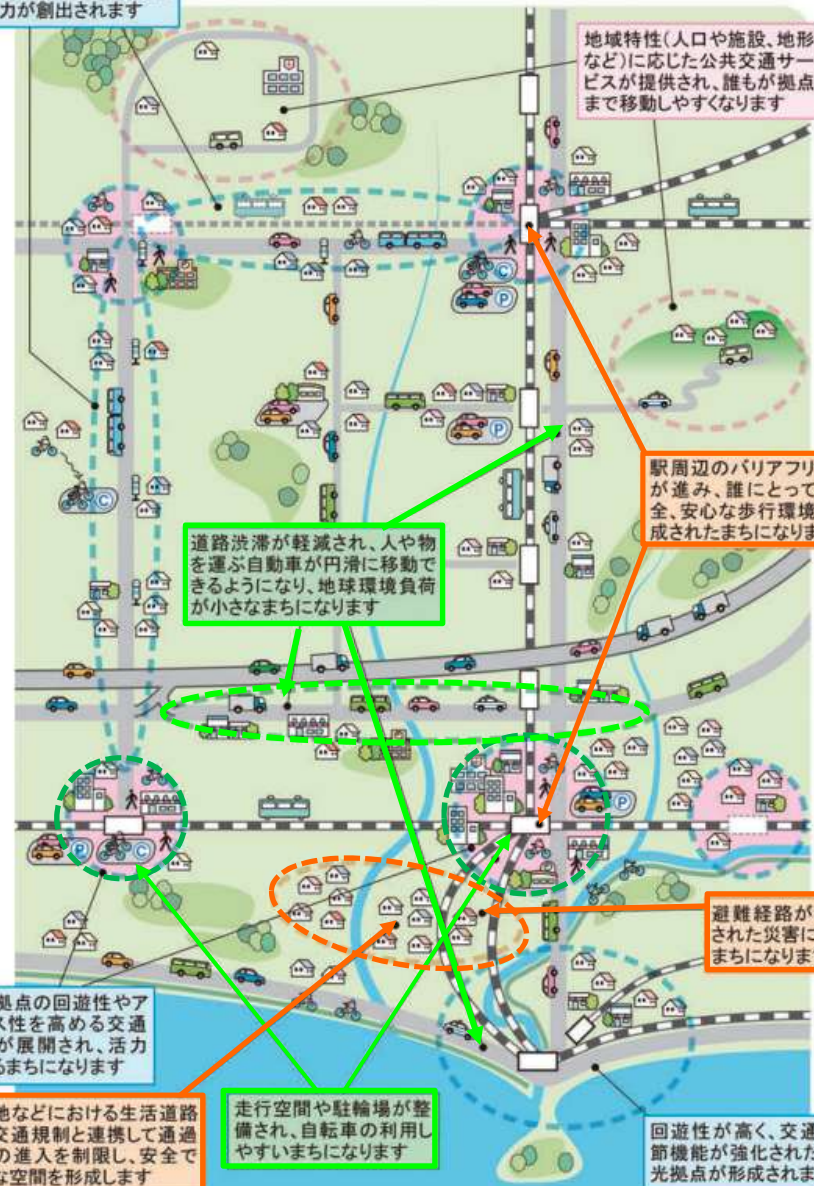
～環境にやさしい～

- 道路渋滞が軽減され、人や物を運ぶ自動車が円滑に移動できるようになり、地球環境負荷が小さなまちになります。
- 走行空間や駐輪場が整備され、自転車の利用しやすいまちになります。

～安全・安心～

- 駅周辺のバリアフリー化が進み、誰にとっても安全・安心な歩行環境が形成されたまちになります。
- 避難経路が整備された災害に強いまちになります。
- 住宅地などにおける生活道路では交通規制と連携して通過交通の進入を制限し、安全で快適な空間を形成します。

都市拠点間の交流・連携を支える交通基盤整備が進み、活力が創出されます



地域特性(人口や施設、地形など)に応じた公共交通サービスが提供され、誰もが拠点まで移動しやすくなります

道路渋滞が軽減され、人や物を運ぶ自動車が円滑に移動できるようになり、地球環境負荷が小さなまちになります

駅周辺のバリアフリー化が進み、誰にとっても安全、安心な歩行環境が形成されたまちになります

避難経路が整備された災害に強いまちになります

都市拠点の回遊性やアクセス性を高める交通施策が展開され、活力のあるまちになります

住宅地などにおける生活道路では交通規制と連携して通過交通の進入を制限し、安全で快適な空間を形成します

走行空間や駐輪場が整備され、自転車の利用しやすいまちになります

回遊性が高く、交通結節機能が強化された観光拠点が形成されます

➤ 将来交通像の見直しの方針

- 現行の将来交通像をベースに、前回会議でお示しした新たに考慮すべき視点、委員からのご意見を踏まえ、将来交通像の見直し検討を行う。

上位計画の改定

- 新技術を生かした都市づくり
- 公共交通の維持・確保
- 持続可能な都市づくり
- サステナブル・インクルーシブ・スマートなまちづくり
- 「コンパクト+ネットワーク」のまちづくり
(立地適正化計画を踏まえたまちづくり)

社会情勢の変化

- 単身世帯の増加
- 観光の多様化
- 脱炭素化
- 自然災害の頻発・激甚化
- ICTによるライフスタイルの変化

交通実態の変化

- 外出・移動機会の減少
- 自宅周辺における移動の増加
- 13地区に共通する交通課題

前回会議でのご意見

- SDGsの視点
- 誰一人取り残さない(交通弱者等への配慮)
- EC(通販)・宅配の増加
- かしこい車の使い方
- 外出しやすい環境の整備
- 地域ごとの望ましい交通像 等

【ベース】

藤沢市の将来交通像(現行)

『ひと・モノ・まちが、
つながる都市～湘南ふじさわ～』

重視する4つの視点

～地域特性～

～活力～

～環境にやさしい～

～安全・安心～



➤ 現在の将来交通像に加えたい点

～地域特性～

- ✓ 類型化し整理した地域特性の考慮
- ✓ 公共交通の維持・確保の視点
- ✓ 外出しやすい環境整備の視点
- ✓ 自宅周辺における移動の増加の考慮
- ✓ 現行計画にはない「地区拠点」という考え方

～活力～

- ✓ ライフスタイルの変化（EC利用拡大等）への対応の視点
- ✓ 新技術（新たなモビリティ、MaaS等）の活用の視点

～環境にやさしい～

- ✓ 脱炭素・持続可能な都市づくりの視点

～安全・安心～

- ✓ 自然災害の頻発・激甚化からレジリエンスの視点
- ✓ 交通弱者への配慮（誰一人取り残さない）の視点

+ 全般的にSDGsの視点が必要

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

